

(社) 日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第6回 輸送容器分科会 (F3SC) 議事録

1. 日時 平成12年12月4日(月) 15:00~16:00

2. 場所 東京電力(株) 本店 本館 3階 大会議室B

3. 出席者 (敬称略)

(出席委員) 有富(主査), 二瓶(副主査), 伊藤, 植木, 尾寄, 久保, 佐藤, 讚井, 松田, 丸岡, 三方, 吉村
(12名)

(代理出席委員) 鈴木(広瀬委員代理), 吉澤(道券委員代理) (2名)

(欠席委員) 望月(幹事), 芦澤, 上園, 林 (4名)

(常時参加者) 川上, 清水, 藤原 (3名)

(傍聴者) 三澤 (1名)

(事務局) 太田, 市園

4. 配付資料

F3SC6-1 第5回 輸送容器分科会 議事録(案)

F3SC6-2 標準委員会の活動状況

F3SC6-3 標準作成手引き

F3SC6-4 標準原案の審議に関するガイドライン

F3SC6-5 標準原案に対するご意見について

F3SC6-6 使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器定期点検基準(案)

F3SC6-7 「輸送容器の安全解析手法の標準化」の検討の進め方について

参考資料

F3SC6-参考1 標準委員会等の開催予定と実績

5. 議事

(1) 出席者の確認

事務局より, 出席者の確認の結果, 18名の委員中, 12名の委員及び2名の委員代理の出席があり, 決議に必要な委員数(12名以上)を満足している旨の報告があった。

(2) 前回議事録確認

前回議事録について承認された。(F3SC6-1)

(3) 標準委員会等の活動状況報告

事務局より標準委員会等の活動状況の報告を行った。更に, 標準作成手引き及び標準原案の審議に関するガイドラインが標準委員会にて承認されたことが報告され, 説明が行われた。(F3SC6-2,3,4)

(4) 使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器定期点検基準(案)の公衆審査について

事務局より使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器定期点検基準(案)の公衆審査が終了し, 意見が無かったことが報告された。(F3SC6-5)

尾寄委員より原子燃料サイクル専門部会委員及び標準委員会委員による決議投票に際し, 編集上のコメントにより基準案の修正が行われたことが報告された。(F3SC6-6)

(5) 今後のスケジュールについて

有富主査より, 引き続き本分科会にて原案作成を行う輸送容器の安全解析手法の標準化について, 検討の進め方について説明があった。更に, 尾寄委員より検討スケジュールの説明があり, 議論が行われた。主な意見を以下に示す。

(F3SC6-7)

- ・ リサイクル貯蔵分科会の検討内容と一部重複するところもあり, 確認が必要である。
- ・ 内容的に密度が高く, 積極的な審議が必要である。
- ・ リサイクル燃料貯蔵分科会では, 貯蔵施設の安全基準を検討しており, 輸送貯蔵兼用容器としての基準ではない。今回, 本分科会にて輸送の部分について標準化を行う。
- ・ 標準化を行う輸送容器の対象範囲を明確にする必要がある。
- ・ B型輸送容器について標準化を行い, A F型の対応を検討することもできる。
- ・ まずは使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器定期点検基準の対象範囲に合わせるべきではないか。

以上の議論を踏まえ, 有富主査より, 当面はB型輸送容器の標準化を検討し, 必要に応じてA F型輸送容器の取り込みを検討することが提案され, 全会一致で承認された。

(6) その他

次回、第7回分科会開催日については、別途連絡することとした。

以上